

会場のご案内

●電車とバスの場合

1. <新宿方面から>
小田急線 新宿駅→新松田駅 急行約90分/
特急ロマンスカー70分
<小田原方面から>
小田急線 小田原駅→新松田駅 急行約15分
2. 富士急行湘南バス 西丹沢方面行き
新松田駅→中川温泉入口 約60分
3. 中川温泉入口下車 温泉方面へ徒歩8分

●お車の場合

1. <名古屋方面から>
東名高速道路「御殿場インター」でおり国道246号線
を東京方面へ向かい清水橋交差点を左折
<東京方面から>
東名高速道路「大井松田インター」でおり国道246号
線を御殿場方面へ向かい清水橋交差点を右折
2. 県道76号を中川温泉方面へ約15分
(途中、右側に道の駅山北あり)
3. 中川温泉入口ゲートをくぐり急な坂道を下って橋を渡った左側

※当日は近隣の『魚山亭やまぶき』の広間をお借りしていますので、駐車場ならびに更衣室としてお使いください。
(利用時間：午前10時～午後4時まで)

◇日本と世界のみたま祀りの会 ご案内◇

◆日時 平成二十九年六月十一日(日)
午後一〜二時

◆会場 神道日垣の庭 神庭
住所 〒二五八-〇二〇一
神奈川県足柄上郡山北町中川五九九
電話 〇四六五-七八-三六五九

◆会費 一〇、〇〇〇円

◆申込 別紙参加申込書にて五月末日迄にお申込みください
(心魂参加も可能です)

※受付は正午より社務所にて行います

※会費は同封の振込用紙にて5月末日までにお振込
くださいますようお願い申し上げます

日本と世界のみたま祀りの会 (神道日垣の庭)

本部 〒258-0201 神奈川県足柄上郡山北町中川599
事務局 〒175-0094 東京都板橋区成増4-3-34
TEL 03-3946-4668 FAX 03-3975-3927

第二十三回

日本と世界の
みたま
まつり

平成二十九年六月十一日(日)

於 神道日垣の庭 神庭



第二十三回 日本と世界のみたま祭りのご案内

日垣宮主は京都の祇園を訪れた際、遠く昔戦乱で亡くなった無数の人々の為
にみたま祭りをして貰いたいと云う神の声を聞いた。

死者の哀しみは何千年経っても消えませんが。

死者の哀しみが大地を冷たくし、そこに住む人々の心も冷たくします。

日本から世界に向けて眞實のみたま祭りをせねば、世界中に温もりがなくな
ってしまいます。

先祖を大切におまつりする心が日本に伝わっているけれど、だんだんその心
が消え世相が乱れ凶悪犯罪が増えてしまいました。(これではいけない。どう
にかしなくては。)

日本の神々から正しいみたま祭りのお作法を伝えられた宮主がまず日本に関
るみたま達をおまつりすると、世界中の民族すべてのみたまに対してこのみた
ま祭りをするようにとそのお作法を伝えられ、宮主の祭祀はスイスを振り出し
に世界中へと広がってゆきました。これが、日本と世界のみたま祭りの始まり
です。

平成六年、『日本と世界のみたま祭りの会』として発足すると、第一回の京都・
吉田神社から始まり、鹿島神宮、神戸齋宮霊の齋城、靖国神社、伊勢宇治神社、
弥彦神社、日垣の庭本部神庭から再び靖国神社へと続き、昨年第二十二回を日
垣の庭本部神庭にて執り行いました。

神々から伝えられるみたま祭りのお作法、人間の生命の根元への礼儀作法、
生と死の眞實、全てに亘るまつりが人類の繁栄をもたらします。眞實の幸福が
姿をあらわします。(過去の宮主原稿より一部抜粋)

初心に帰り、この会が発足した経緯、意味、役割についてあらためて見つけ
てみました。

日垣宮主が何十年にも亘りお仕えしてきた神々への祈りが形となり、今もな
お祭祀は続いています。

神と人と地球が存在する限り、皆様と共にこの祭祀を続けて行かれることを
願って、第二十三回 日本と世界のみたま祭りをお仕え申し上げます。皆様の
ご参加をお待ちしております。

平成二十九年四月嘉日

神道日垣の庭

日本と世界のみたま祭りの会